

No	区分	項 目	内 容	備 考
1	共通	出入口	通過量については、新庁舎南側の駐車場から7割、西側から1.5割、東側や北側から1.5割と想定。北側に消防庁舎、東北側にうずしお会館(コンベンション施設)もあることから、ある程度、一般来庁者が東西・南北に抜ける動線になると予想	
2	共通	窓口課の配置	A市民課、B保険課・長寿介護課、C子どもいきいき課・社会福祉課(よりそい)、D税務課、E健康増進課、F会計課・指定金融機関、Gその他(水道企画課と法務局〔端末設置〕)の7グループ。このうち、A～C、F・Gのワンフロア化は必須。カウンターラインは直線(執務者のPC画面を覗かれない為)	
3	共通	執務エリアの考え方	「添付1 基本設計からの変更可否リスト」をご参照ください。	
4	共通	各所属の配置に関する配慮事項	社会福祉課は庁舎東側に配置 税務課の待合ゾーン(1階配置課程度を確保) 健康増進課(ネウボラ「子育て世代包括支援センター」との隣接性確保、音への配慮、新庁舎内での各種検診の実施は想定していません) 人権相談室(階段と裏動線で接続すること) オープンスペースに配置しない所属(人権推進課、人事課、秘書担当、情報化推進室)	
5	共通	待合ゾーンの広さ	カウンターラインに対して10m程度の奥行き待合ゾーンを確保 (情報発信や展示スペース、多目的ホールの補完機能を果たすことを想定)	
6	共通	相談室	窓口課でシェアするイメージながら、1階に7室程度、2～3か所に分散して配置。 出入口は必ず2か所。2階より上層階については数は少ないが配置。会議室との共用も想定	
7	共通	会議室	市民開放・コンベンション機能を備えた大会議室をアクセスの良い場所に配置。 その他の会議室の広さ・数・配置については、基本設計書を基準とするが、レイアウト等に応じた変更については、技術提案可能とする。(ただし、変更理由や意図を明確に提示されたい)	
8	共通	多目的ホール	臨時的な窓口対応、市民開放、簡単なイベント(壮行会)等に対応する開放ゾーン。 臨時的な業務に使用する期間は何らかの形で施錠できる仕様。外部との一体利用ができると望ましい。 窓口課・待合ゾーンとの兼ね合いで、面積確保が難しい。	

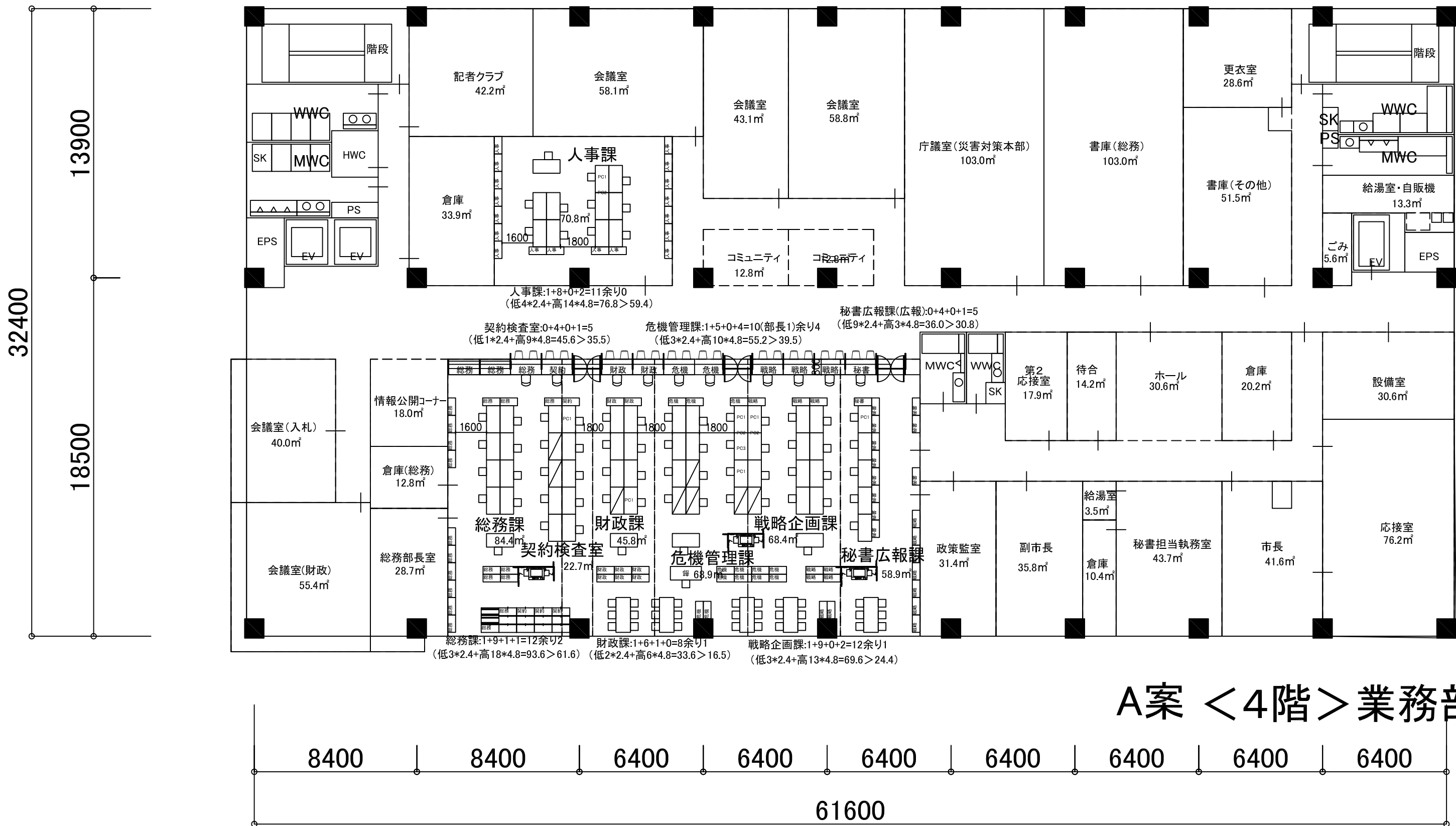
No	区分	項 目	内 容	備 考
9	共通	トイレ	1階表動線側のトイレに関しては、できる限り基数を確保し快適性を重視すること	
10	A案	評価点	・ 面積効率が低い。 ・ 最もオーソドックス(Bの1階の執務空間は背後が暗い)	
11	A案	懸念事項	・ 来庁者にとって、大人数の職員に両側から見られるのは圧迫感がある。 ・ 入口に入った時のときめきがない。	
12	B案	評価点	・ 利用者から見た窓口の視認性の良さ ・ パブリック空間の開放感と明るさ ・ 階毎の機能分離に優れる ・ 大会議室の場所が低層階にあり市民開放スペースが集約されている (2階に外部入口を作って接続することも可能) ・ 東西幅の短さ(配置計画上の選択肢が広い)	
13	B案	懸念事項	・ 1階はカウンター数がやや制限される。 ・ 1階執務空間奥に閉塞感がある。 ・ 2階の使い勝手が微妙(通路幅がやや狭い) ・ 2階の吹抜けと執務室の関係が微妙	
14	C案	評価点	・ 税務課まで含めたワンフロア化の実現 ・ 階段位置がわかりやすく垂直異動が少なく済む(4階建のため) ・ 玄関ロビーの水平方向の開放感 ・ 執務空間集約を図りつつ、各階3方向に機能分離&中央コア付近に会議空間を確保	
15	C案	懸念事項	・ 1階層に様々な部署が混在することによる利便性の低下 ・ 東西方向に長くなることによる配置計画への影響	

資料一1 (A案)



A案<1階>窓口部門





A案 <4階> 業務部門

32400

13900

18500

8400

8400

6400

6400

6400

6400

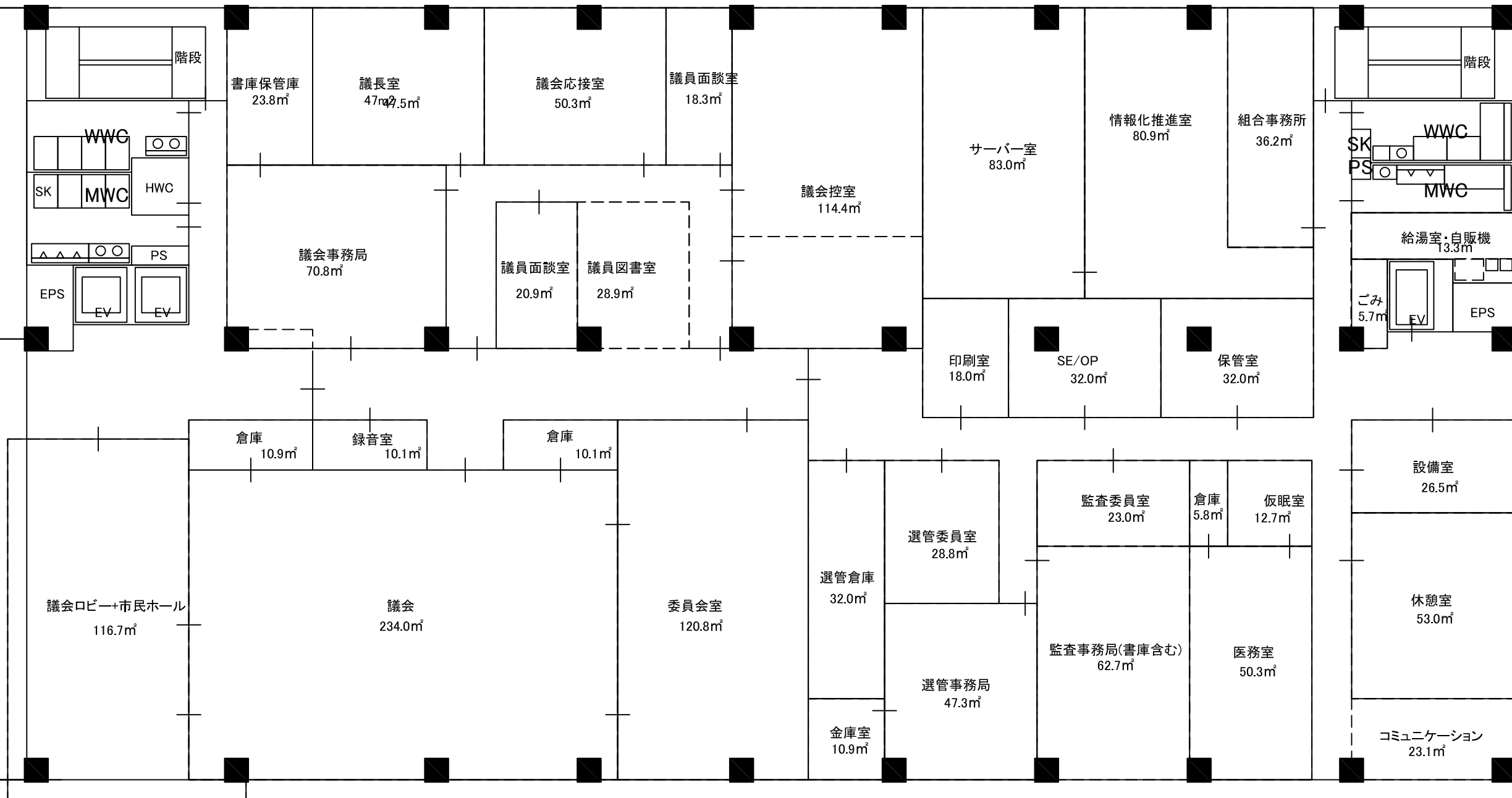
6400

6400

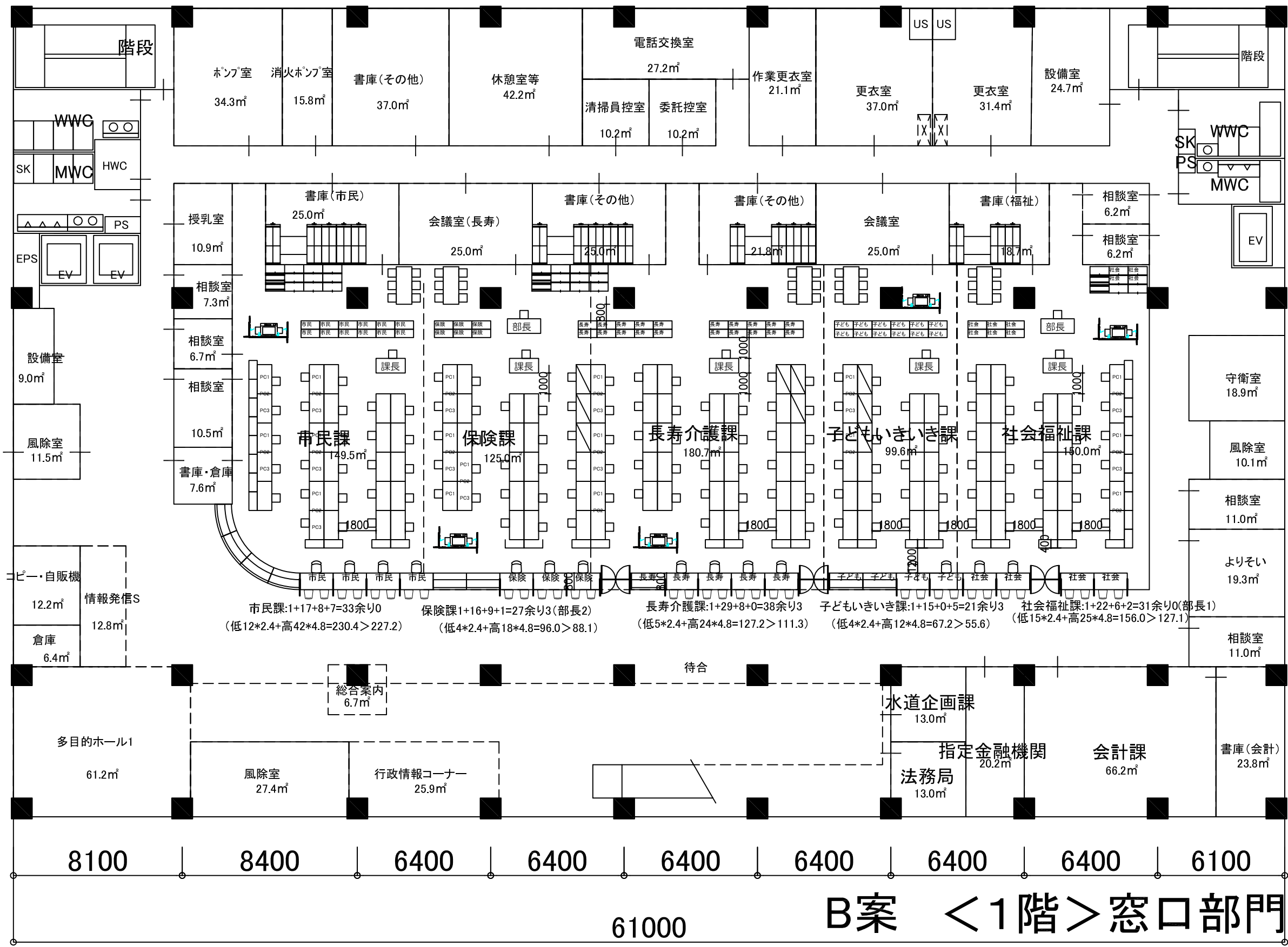
6400

61600

A案<5階>議会部門



資料一(B案)

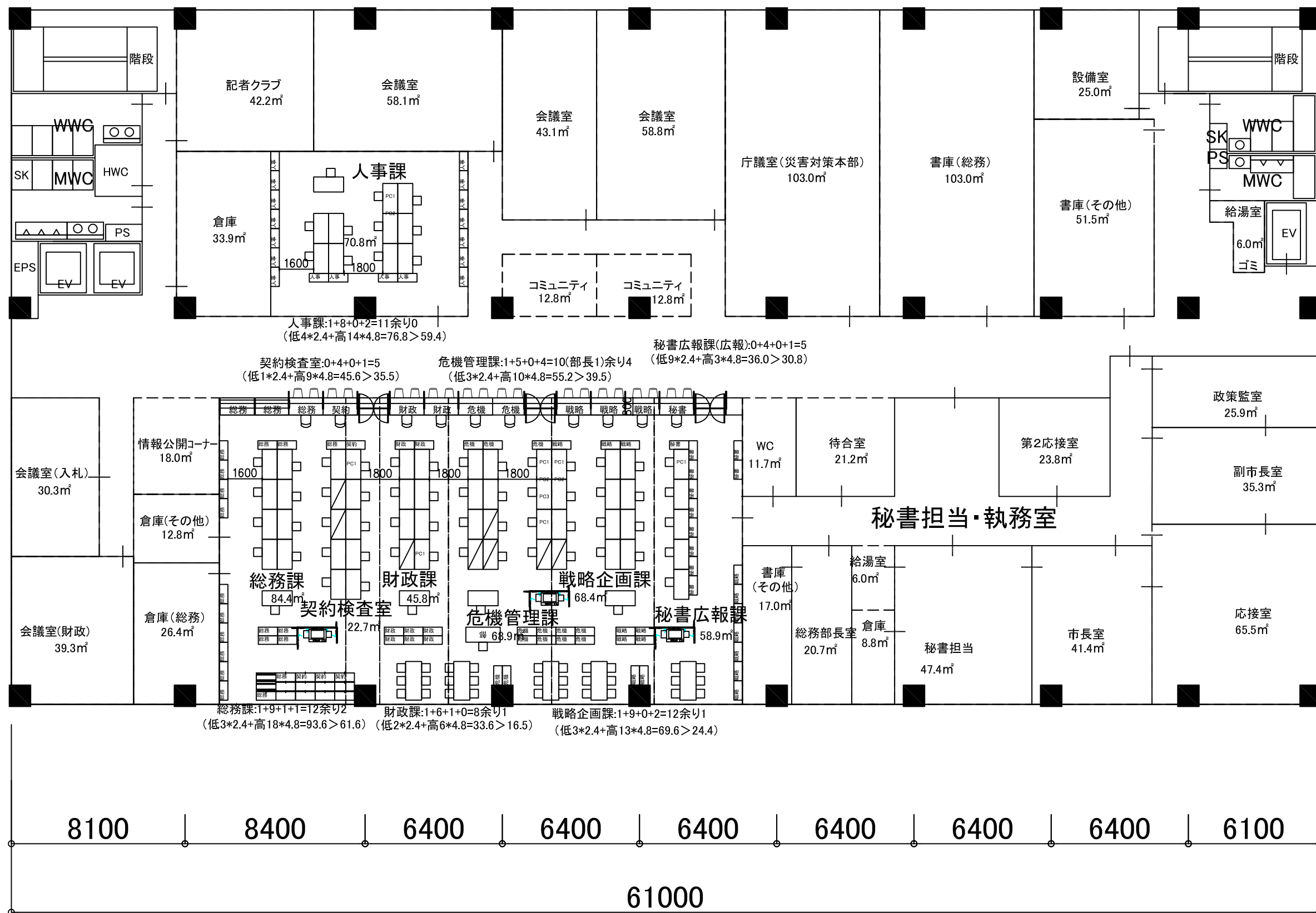


B案 <1階>窓口部門

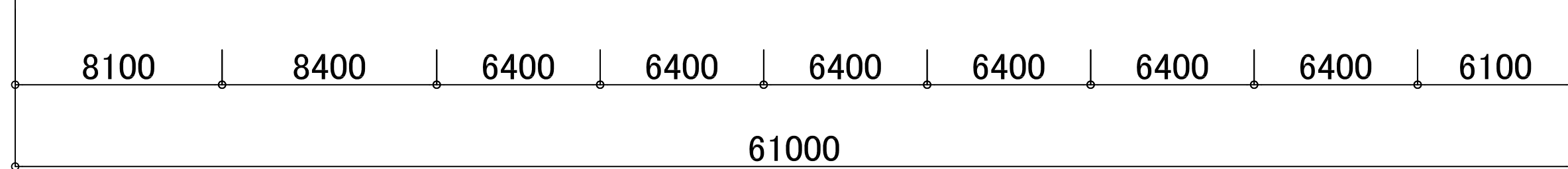
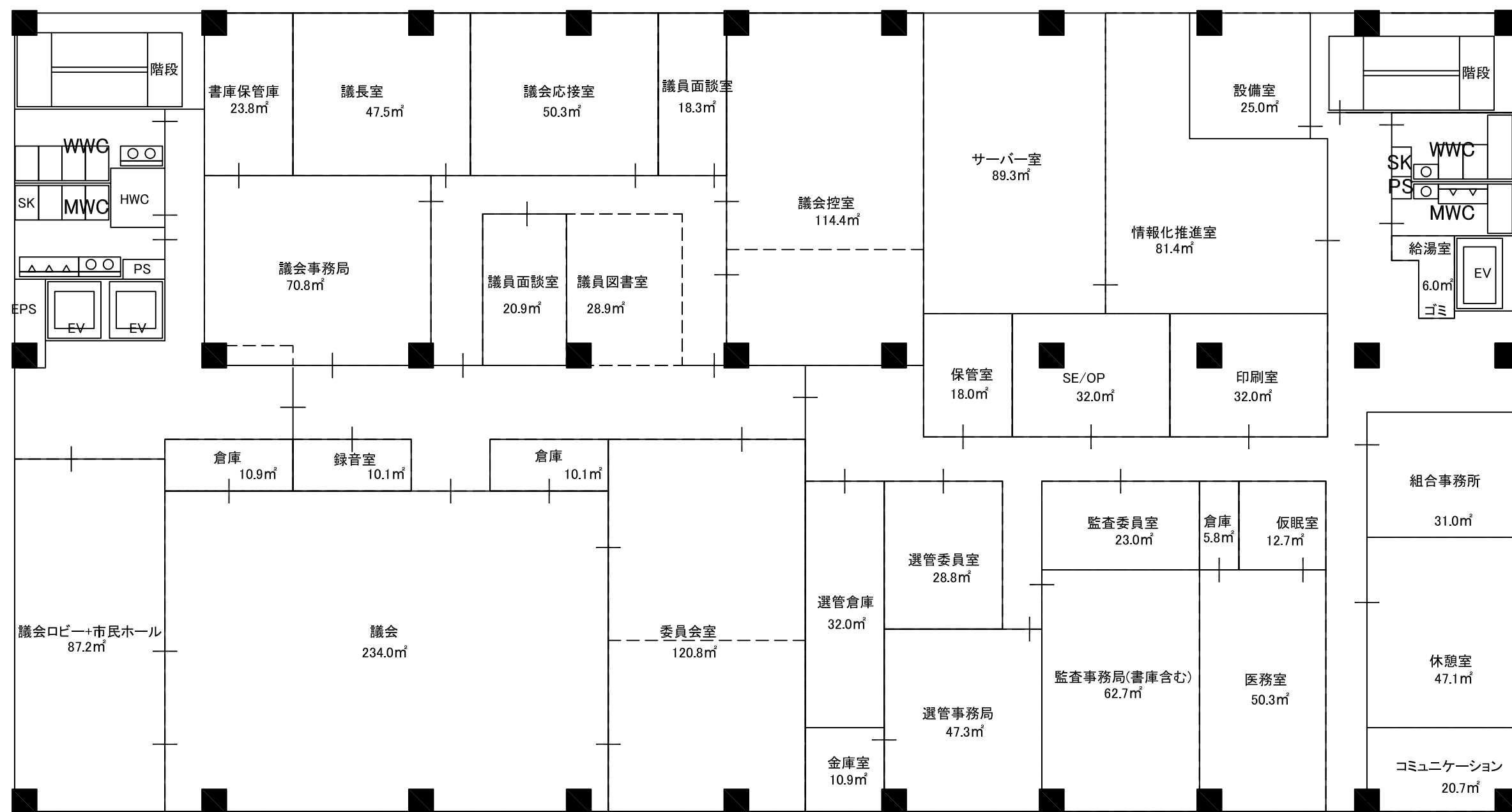
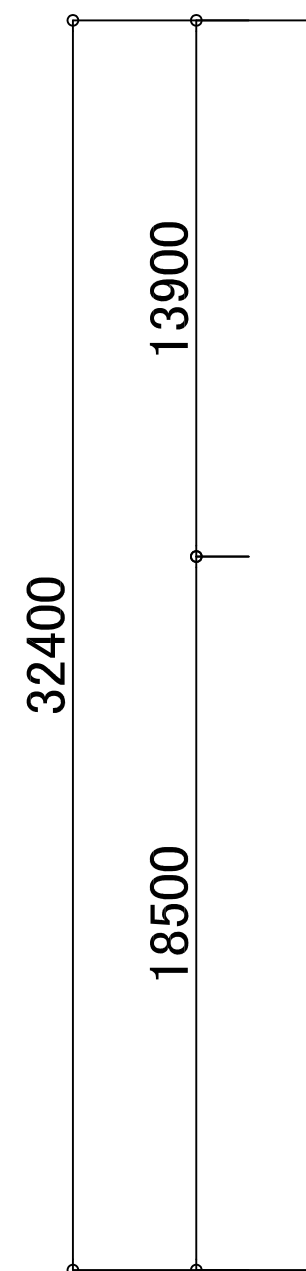
32400

13900

18500

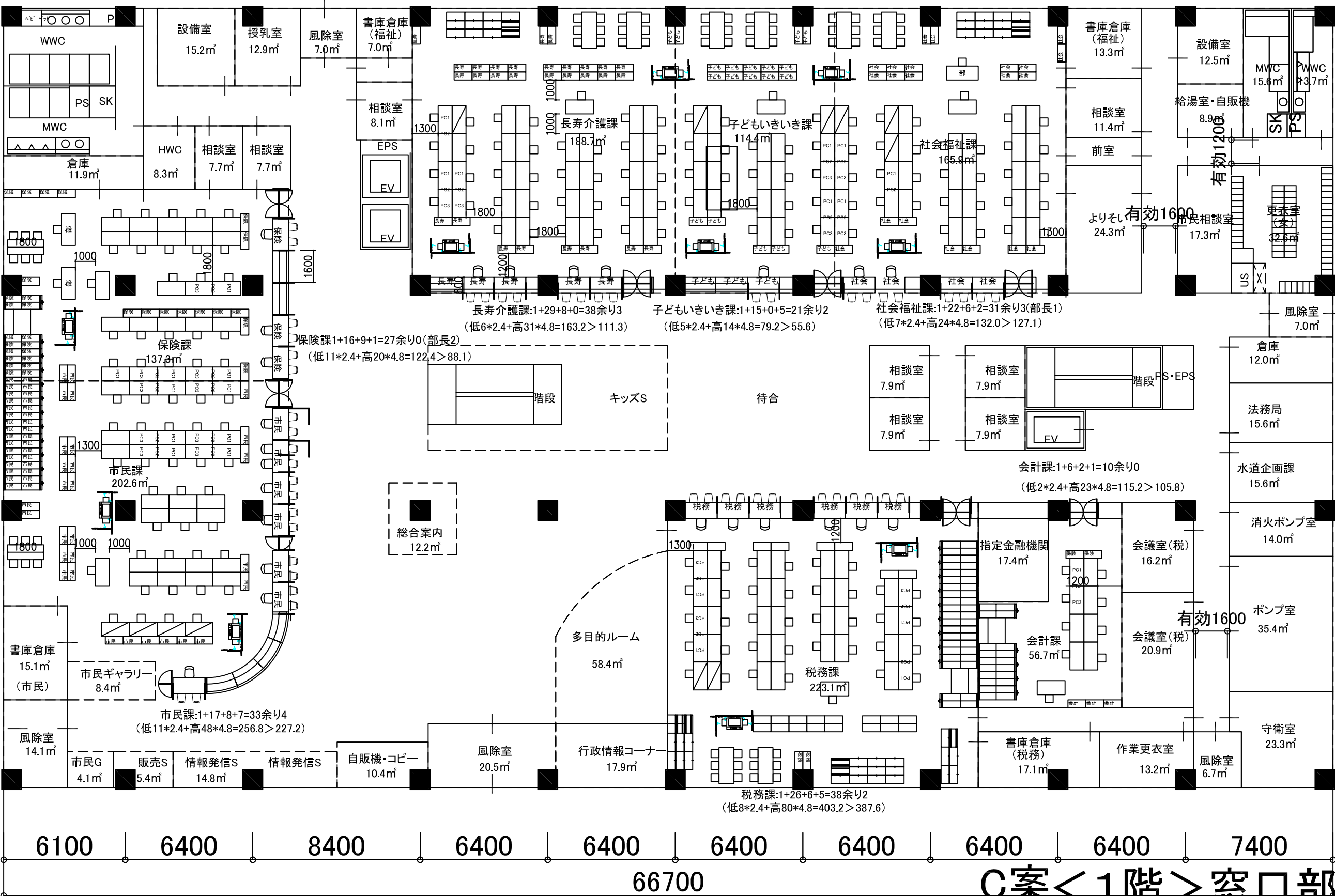


B案 <4階>業務部門



B案 <5階>議会部門

資料一1 (C案)



C案<1階>窓口部門

